

■消費収支計算書（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）

消費収入の部

(単位:千円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B) - (A)
学生生徒等納付金	3,034,083	3,049,498	15,415
手数料	47,940	42,538	△ 5,402
寄付金	19,450	23,447	3,997
補助金	1,011,809	1,015,768	3,959
国庫補助金	389,279	389,681	402
地方公共団体補助金	622,410	625,967	3,557
その他の補助金	120	120	0
資産運用収入	7,470	5,560	△ 1,910
事業収入	1,200	4,970	3,770
雑収入	188,550	196,916	8,366
帰属収入合計	4,310,502	4,338,697	28,195
基本金組入額合計	△ 291,178	△ 273,157	18,021
消費収入の部合計	4,019,324	4,065,540	46,216

ほぼ予算通りの収入となり、昨年度比1億6,400万円増の、30億4,900万円となりました。これは帰属収入の70.3%(同規模法人平均54.4%)にあたります。

昨年度比6,900万円減の10億1,600万円となり、これは帰属収入の23.4%(同12.6%)にあたります。

帰属収入合計は昨年度比1億2,300万円増の43億3,900万円となりました。

(注)帰属収入
学園が提供した教育・研究の対価として受け取る収入で、負債とならない収入です。
学園の設置する学校等に必要消費支出の財源となります。

年間収入たる帰属収入から、教育環境を維持するための施設・設備等の取得などの目的で予め「自己資本」として組入れます。今年度の組入れ額は2億7,300万円で帰属収入の6.3%(同8.2%)にあたります。

今年度は昨年度比4,100万円増の28億2,400万円となりました。これは帰属収入の65.1%(同51.2%)で昨年度比△0.9ポイントです。

昨年度比1億700万円減の12億7,700万円で帰属収入の29.4%(同34.6%)です。

消費支出の部

(単位:千円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B) - (A)
人件費	2,824,831	2,824,393	△ 438
一般人件費	2,652,384	2,618,449	△ 33,935
退職給与引当金繰入額	172,447	205,944	33,497
教育研究経費	1,351,102	1,276,722	△ 74,380
一般経費	771,702	759,241	△ 12,461
減価償却額	579,400	517,481	△ 61,919
管理経費	299,995	291,542	△ 8,453
一般経費	267,195	259,326	△ 7,869
減価償却額	32,800	32,216	△ 584
借入金等利息	9,700	9,698	△ 2
資産処分差額	100	74	△ 26
〔予備費〕	22,900	0	△ 22,900
消費支出の部合計	4,508,628	4,402,429	△ 106,199

今年度は、3億3,700万円の支出超過となりました。これは、第7次財政中期計画を6,600万円下回ります。結果、帰属収支差額比率は△1.5%(同3.6%)となっています。

当年度帰属収支差額	△ 198,126	△ 63,732	134,394
当年度消費収支差額	△ 489,304	△ 336,889	-
前年度繰越消費収支差額	△ 9,759,985	△ 9,759,985	-
基本金取崩額	0	0	-
翌年度繰越消費収支差額	△ 10,249,289	△ 10,096,874	152,415

(注)1.当年度帰属収支差額=帰属収入合計-消費支出の部合計
2.当年度消費収支差額=消費収入の部合計-消費支出の部合計

消費支出の合計は昨年度比9,100万円減額の44億200万円となりました。結果、消費収支の差額は3億3,700万円の支出超過(赤字)となりましたが、支出抑制の努力もあり、当初予算と比較して1億5,200万円の支出超過減額となりました。